

弥富相生山線に関する住民意向の調査

説 明 資 料

平成 2 6 年 1 0 月 1 1 日

名 古 屋 市

目 次

	頁
1 弥富相生山線 事業の概要と経緯 -----	1
2 弥富相生山線の工事中断後の主な経緯 -----	2
3 弥富相生山線の建設に伴う主な効果と影響 -----	3
4 ヒメボタル分布の経年変化 -----	4
5 弥富相生山線周辺の交通状況と東海豪雨 -----	5
6 地元及び地元の関係諸団体の弥富相生山線建設に対する要望・意見 -----	6

市長が判断するうえで、参考とさせていただきたい主な事項

- 野並交差点の状況について
- 通り抜け交通の解決策について
- 野並水害など防災について
- 相生山地域の魅力について

1 弥富相生山線 事業の概要と経緯

路線名	事業区間	延長	幅員
弥富相生山線	天白区菅田三丁目 ～天白町大字野並	892m	12～16m

(1) 整備目的

都市計画道路弥富相生山線は、名古屋都市計画の幹線街路として、都市の骨格を形成する道路であり、都市内におけるまとまった交通を受け持つとともに、円滑な交通処理と良好な市街地環境の形成、さらには災害時の防災性の向上を図ります

(2) 本体事業費

全体事業費 約36億円
 執行済額 約29億円
 平成25年度末進捗率 約80%

(3) 位置図



昭和32年9月 都市計画決定
 平成4年7月 測量説明会
 平成5年9月 都市計画事業認可取得
 平成5年9月 事業説明会

凡 例
 都市計画法および工事
 環境に配慮した取組み
 工事中断に関連した事項
 周辺交通状況の変化

平成13年9月 「専門家会」開催（全6回開催）
 平成15年3月 「専門家会」提言書
 平成15年7月～ 施工ワーキング開催
 （現在まで86回開催）

平成15年10月 都市計画変更説明会
 平成16年2月 都市計画変更告示
 平成16年3月 都市計画変更事業認可
 平成16年3月 工事着手

平成21年9月 地元での対話集会

平成22年1月 工事中断

平成22年1月 学術検証委員会が発足
 平成22年2月 第1回検証委員会開催（全6回開催）
 平成22年12月 市長への検証結果報告

平成23年3月 国道302号及び名二環が供用開始
 平成23年3月 地下鉄桜通線が野並～徳重間を延伸
 平成24年2月 地下鉄建設に伴う道路復旧工事完了

交通量を市長
に説明

平成25年4月 市長選マニフェストで“相生山は住民投票で”

平成26年3月 予算委員会で“判断のための住民意向の調査は、
この秋の決算認定案審査までに行う”と表明

平成26年4月 住民意向の調査についての検討委員会を開催
（現在までに6回開催）

2 弥富相生山線の工事中断後の主な経緯

平成21年 9月26日	市長の前でちょといい対話 in 相生山（市民の対話集会）開催	平成26年 1月27日	副市長が山根・相生・野並・高坂学区区政協力委員長及び「天白区を住みよくする会」会長と会談
平成22年 1月18日	建設工事中断		
2月 1日	第1回「相生山緑地の道路建設に係る学術検証委員会」開催（その後、全6回開催）	2月 4日	副市長が「相生山の自然を守る会」「相生の里山連絡会」「相生山の四季を歩く会」「市道弥富相生山線を考える市民の会」代表と会談
10月18日～29日	生物多様性条約第10回締約国会議（COP10）開催	3月14日	市長が土木交通委員会において、「現にあそこに住んでいる方の意見は大きいです。私は何とかそれを雰囲気だけではなく、総体的に知りたいのです。」と発言
12月 9日	学術検証委員会委員長から市長に検証結果報告書提出	3月18日	土木交通委員会において、住民意向の調査について「建設の是非については市長が判断する。」「判断のための住民意向の調査は平成25年度決算認定案審査までに行う。」との方針を示す
12月10日	市長が現地視察		
平成23年 1月19日	市長が山根・相生・野並学区区政協力委員長及び「天白区を住みよくする会」会長と会談	3月19日	平成25年請願第12号「市道弥富相生山線の早期開通を求める件」2月市会にて採択。請願事項「建設工事を26年度から再開すること。」「生活道路における交通規制はこれ以上行わないこと。」「建設工事の継続の是非に関する住民投票やアンケート投票は実施しないこと。」
3月20日	国道302号及び名古屋第二環状自動車道の供用開始		
3月27日	地下鉄桜通線延伸区間（野並～徳重）の開通	3月19日	平成26年度予算議決時に「弥富相生山線の住民意向の調査については、地域の亀裂が入ったり、対立が生じるような手法はとらないこと。」「弥富相生山線の建設工事については、市民に責任を押し付けることなく、市長の責任で決定をすること。」との附帯決議をいただく
12月20日	市長が現地視察		
平成24年 2月	地下鉄桜通線の建設に伴う道路復旧工事が完了	4月30日	平成25年請願第20号「市道弥富相生山線の建設について、公正な住民投票を求める件」、平成26年請願第3号「市道弥富相生山線建設に関して、行政と市民の話し合いの場を開催することを求める件」、同第4号「市道弥富相生山線建設についての検証を求める件」が土木交通委員会にて審査打切となる
平成25年 3月31日	市長が山根・相生・野並・高坂学区区政協力委員長及び天白区区政協力委員協議会議長と会談	5月 7日	平成26年請願第3号「市道弥富相生山線建設に関して、行政と市民の話し合いの場を開催することを求める件」、同第4号「市道弥富相生山線建設についての検証を求める件」の審査結果に対して議員（5名）より異議申し立て
4月21日	市長再選。マニフェストに「相生山（弥富－相生山線）は住民投票で。住民自ら高度な責任ある判断を」と記載	5月 8日	平成25年請願第20号「市道弥富相生山線の建設について、公正な住民投票を求める件」、平成26年請願第3号「市道弥富相生山線建設に関して、行政と市民の話し合いの場を開催することを求める件」、同第4号「市道弥富相生山線建設についての検証を求める件」の審査結果に対して議員（3名）より異議申し立て
11月20日	市長と副市長が山根・相生・野並・高坂学区区政協力委員長及び天白区区政協力委員協議会議長並びに「天白区を住みよくする会」会長・副会長と会談	5月16日	平成25年請願第20号、平成26年請願第3号、同第4号が5月臨時市会において、審査打切り
11月21日	市長が「相生の里山連絡会」共同代表と会談		
12月10日	平成25年請願第12号「市道弥富相生山線の早期開通を求める件」が土木交通委員会にて採択		
12月18日	平成25年請願第12号「市道弥富相生山線の早期開通を求める件」の審査結果に対して議員（5名）より異議申し立て		
12月24日	平成25年請願第12号「市道弥富相生山線の早期開通を求める件」の審査結果に対して議員（4名）より異議申し立て		
平成26年 1月18日	天白区において名古屋市次期総合計画タウンミーティングが開催され6名（反対5名・推進1名）が発言。（全体では7区16名（反対14名・推進1名・その他1名）の方が弥富相生山線について発言）		

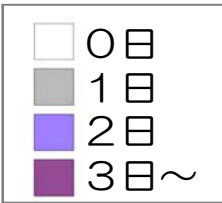
3 弥富相生山線の建設に伴う主な効果と影響（学術検証委員会の報告書より）

■効果が見込める点	■影響を与える点
・ 周辺の生活道路への入り込みが緩和される 現在、生活道路に流入している車両が、弥富相生山線を通行するようになり、生活道路への入り込みが減少すると予測される ・ 周辺の渋滞が緩和する 主要交差点の渋滞が緩和し、周辺道路の混雑も改善すると予測される ・ 旅行時間が短縮される 交通ネットワークが強化され、周辺道路を移動するときに要する時間（旅行時間）が短縮される ・ 防災機能が向上する 道路整備区域およびその影響区域には、防災上必要な処置（水路整備や土砂流出防止設備）がなされるので、相生山緑地全体の防災機能は向上する ●まとめ 周辺道路の渋滞の緩和および交通の円滑化により、旅行時間が短縮され、緊急車両等の通行にも寄与する。また、周辺の防災機能も向上する	・ 生物の生息域が減少する 緑地面積が減少するとともに、緑地が分断されることによりヒメボタルなどの生物の生育域が減少する ・ 緑地の保水力が低下する コンクリートや舗装などの構造物の面積が増加することにより、森の保水力が低下し、乾燥化するため、植生や土壌生物層に影響が及ぶことが懸念される ・ 外来種が侵入しやすくなる 相生山緑地では、外来種の侵入により多様性が失われつつある。道路の整備により、外来種がより侵入しやすい環境となる ・ 生態系の関係が崩れる 工事による水脈や湧水量が大きく変わると、生態系が壊れ、今のヒメボタル、植生、地質の関係が崩れてしまう恐れがある ●まとめ 緑地面積の減少により生物の生息域が減少するとともに、緑地全体の保水力が低下し乾燥化することにより、生物層の貧困化とりわけヒメボタルの生息環境を劣化させる

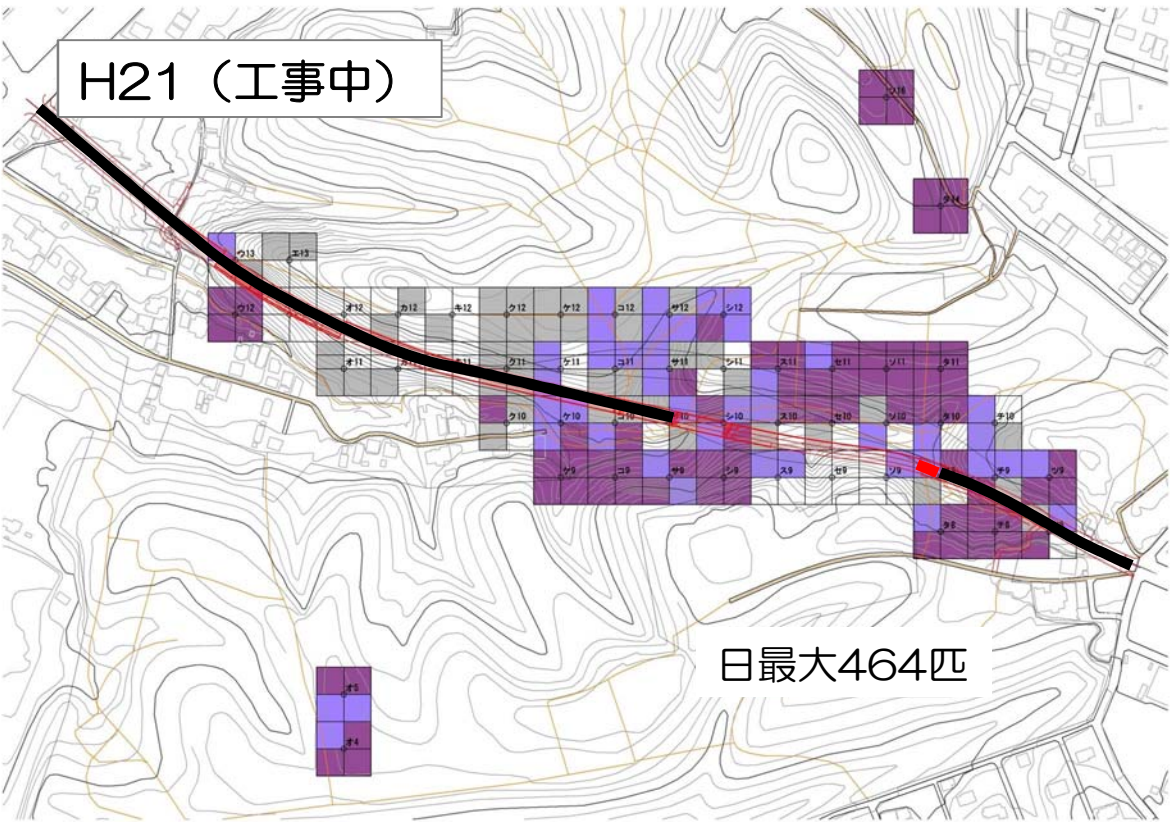
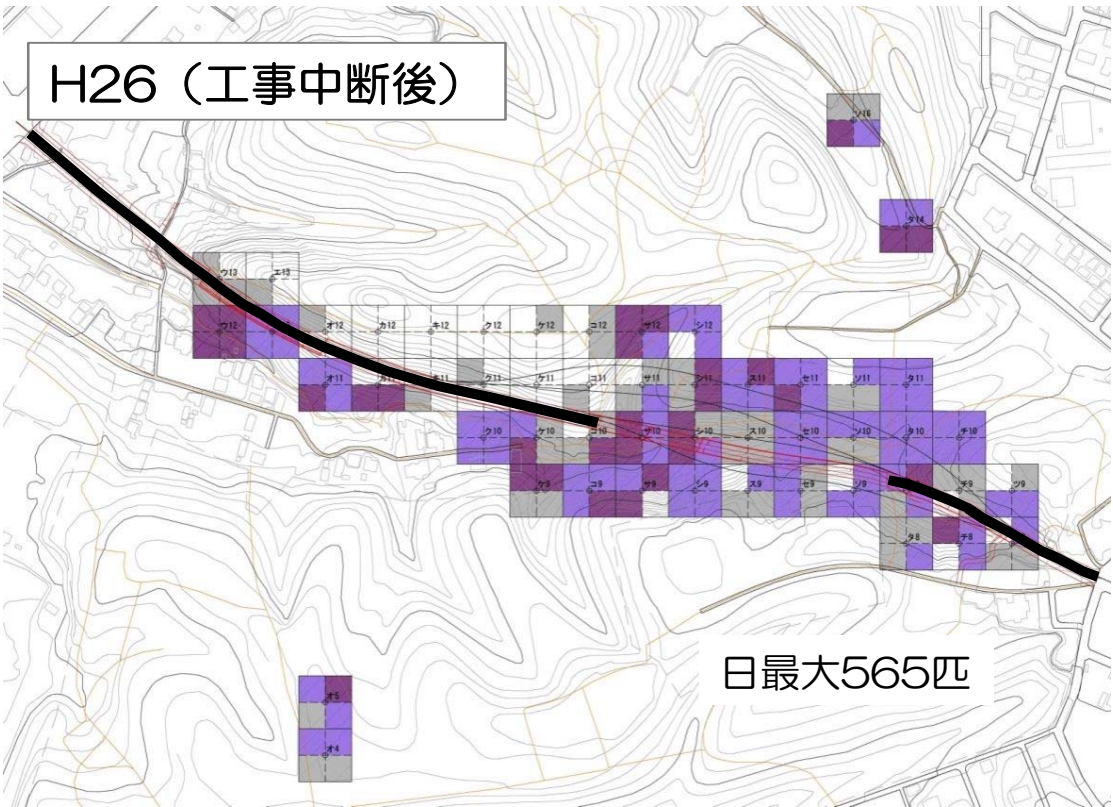
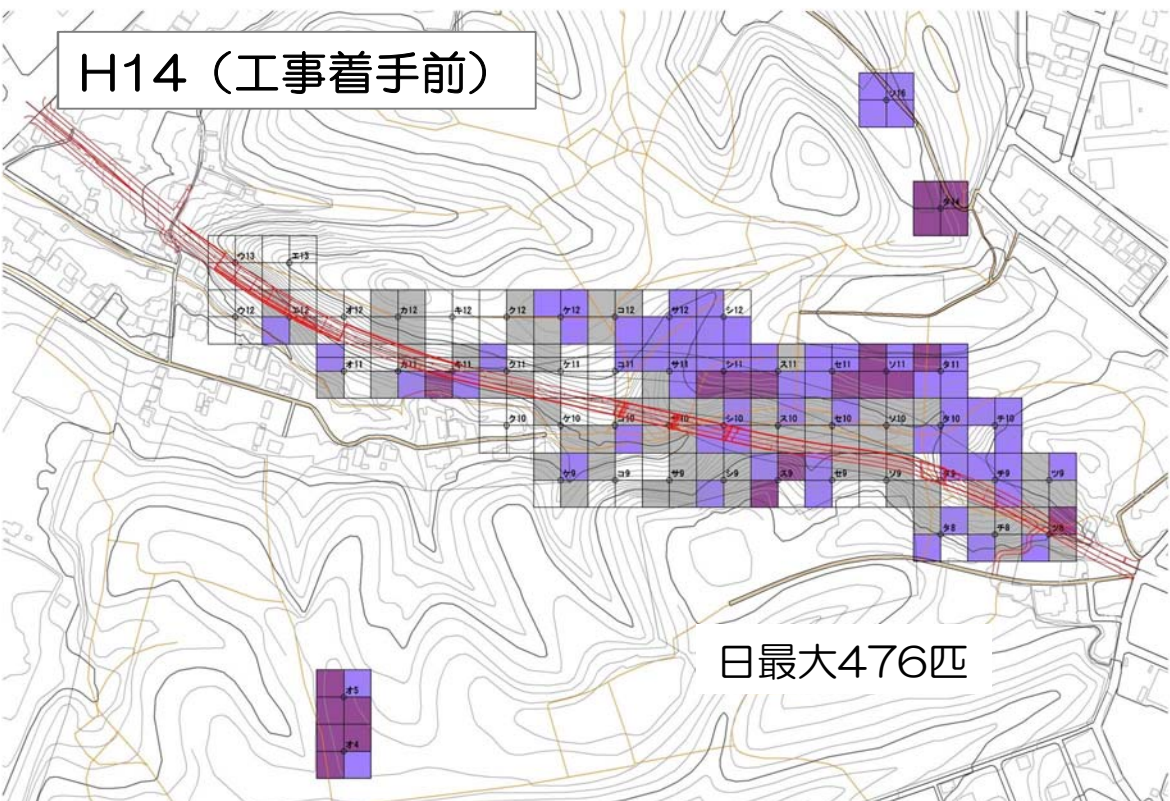
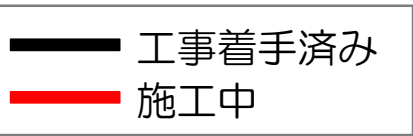
4 ヒメボタル分布の経年変化

期 間：5月下旬～6月上旬の3日～5日
時間帯：22:00～24:00
方 法：道路沿いの調査範囲約8ha
（40m間隔、全51箇所）内で、
目視できた数を記録

凡例①：ヒメボタルの飛翔状況が
目視できた日数



凡例②：道路の施工状況



工事 着手前	年度	H14	H15					平均
	日最大 匹数	476	183					329
工事中	年度	H16	H17	H18	H19	H20	H21	平均
	日最大 匹数	244	455	126	260	308	464	309
工事 中断後	年度	H22	H23	H24	H25	H26		平均
	日最大 匹数	460	787	279	376	565		493

5 弥富相生山線周辺の交通状況と東海豪雨

1 生活道路への入り込み

山根学区内の生活道路への入り込み車両が、依然として多い状況が続いています

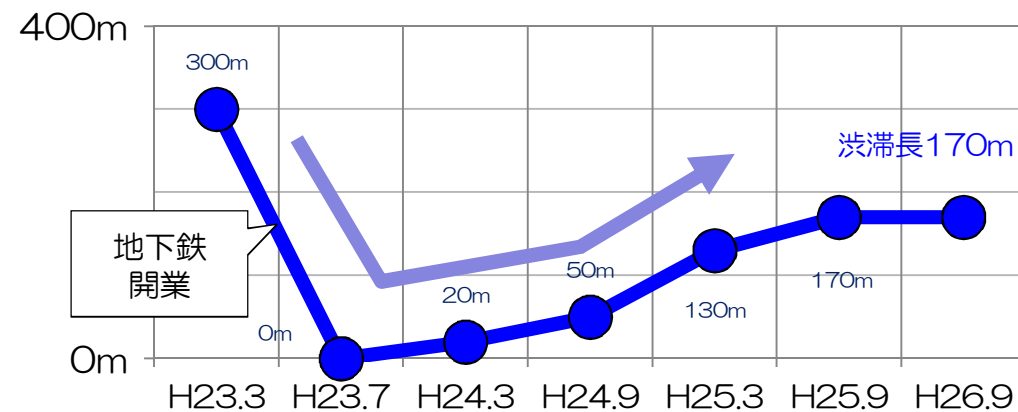
①調査地点での通過車両台数

7時～19時の12時間で1,430台です（平成26年9月11日調査）

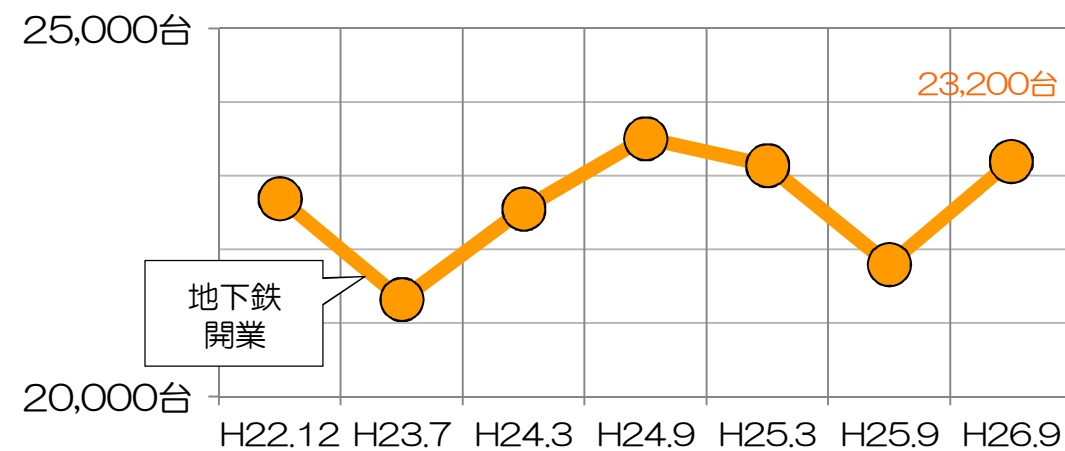
2 野並交差点の渋滞

野並の交差点での交通量と渋滞は、地下鉄開業後に一旦減りましたが、徐々に増えてきています

②西行き 最大渋滞長（7時～9時）



③東西方向の交通量（7時～19時）



3 東海豪雨

平成12年9月11日から12日にかけて愛知県を中心に記録的な豪雨となりました

野並水害訴訟

野並地区の浸水被害が拡大したのは、ポンプに燃料を供給する燃料供給ポンプが水没してしまい、ポンプ4台が約6時間にわたって停止し排水が止まったからではなく、治水・排水管理施設の能力をはるかに上回る豪雨により雨水が野並地区に流れ下り、流水が集中したからであった

（平成13年9月10日 名古屋市答弁書より抜粋）

東海豪雨を受けた雨水対策

東海豪雨以降、被害の大きかった野並地区においては、緊急雨水整備事業等により、市内の整備水準である1時間50mm対応を上回る1時間60mmの降雨に対応できるよう、雨水貯留施設や雨水管きょ増強などの整備を実施したことにより、同様の降雨に対して、浸水被害を最小限にとどめます

6 地元及び地元の関係諸団体の弥富相生山線建設に対する要望・意見

(1) 地元の要望・意見

地 元	年 月	要望書数	主な要望・意見
天白区を住みよくする会	平成 5 年 9 月 ～ 平成 26 年 8 月	20 通	○ 早期建設・開通を要望する。その理由として、 ・ 生活道路への入り込み車両が解消される ・ 野並・島田交差点の渋滞が解消される ・ 緑地内の防災・防火に対する役割が期待される ・ 緊急車両の到着時間の短縮により、救急活動の迅速化が期待される ・ 災害時における緊急通路としての役割や、救助物資の迅速な確保が期待される ○ 周辺地域の開発により予測される新たな交通需要への対応が必要である
野並学区区政協力委員会 山根学区区政協力委員会 連名	平成 22 年 3 月 及び 平成 24 年 2 月	2 通	○ 生活道路への流入車両をなくすため早急に供用を開始すること ○ 周辺地域の交通需要の増加、生活道路への入り込み抑制、防災・防火、救急活動の迅速化等から、早期完成を要望する
野並学区相生山町内会	平成 22 年 7 月	1 通	○ 野並交差点の渋滞解消、緑地内の通り抜け車両の抑制のため道路を完成・開通させること
名古屋市区政協力委員大会 「天白区要望事項」	平成 24 年 11 月	1 通	○ 建設工事の早期再開と完成を強く要望する
天白区を住みよくする会 野並学区区政協力委員会 山根学区区政協力委員会 相生学区区政協力委員会 高坂学区区政協力委員会 連名	平成 25 年 11 月	1 通	○ 建設工事を来年度から再開すること ○ 生活道路の交通規制をこれ以上行わないこと ○ 地元住民同士の感情的な対立を残すため、住民投票は行わないこと
野並学区野並消防団	平成 26 年 6 月	1 通	○ 早期建設・開通を要望する。その理由として、 ・ 緑地内の防災・防火に対する役割が期待される ・ 緊急車両の到着時間の短縮により、救急活動の迅速化が期待される ・ 災害時における緊急通路としての役割や、救助物資の迅速な確保が期待される

※『天白区を住みよくする会』は、天白区の全学区から 2 名（区政協力委員長と学区の推薦で選ばれる 1 名）で構成する団体（事務局は天白区役所内に設置）

(2) 地元の関係諸団体の要望・意見

主な団体	年 月	要望書数	主な要望・意見
相生山の自然を守る会 (相生山ヒメボタルを守る会)	平成 12 年 3 月 ～ 平成 26 年 2 月	47 通	○道路整備計画の中止。都市計画の見直し ○住環境の予測、環境影響予測評価、ヒメボタルの生態調査の実施 ○自然・生活環境への影響の検証、道路建設による新たな渋滞発生や生活道路への入り込みの検証を行うこと ○市民と共同で自然に親しむことが出来る相生山緑地とすること ○「施工ワーキングのススメ」の発行・配布の中止 ○相生山緑地の大切さ、持続可能な社会、脱車社会の視点からも道路建設中止の決断を ○野並・島田交差点の渋滞解消、交通規制の徹底による生活道路への入り込みの抑制により道路建設は不要である ○市民参加で意向調査の方法・内容の決定を行うこと
相生の里山連絡会 (ヒメボタル幼虫調査実行委員会 エコミュージアムあいち 相生山緑地自然観察会 はたるの伝言実行委員会)	平成 17 年 12 月 ～ 平成 26 年 6 月	15 通	○相生山緑地を「エコミュージアム（ヒメボタルの里）」とすること ○道路建設工事によるエッジ効果を防ぐため、早急に森の回復復元を行うこと ○既設の道路構造物をモニュメントとして残すこと ○市民意見の検証結果の公表 ○貴重な緑と環境を保全する英断を ○地下鉄の延伸・名 2 環の開通による渋滞の緩和、ヒメボタルの保全のため道路建設中止の英断を ○公正な住民投票で市民の意思を明らかにし、高度な政治判断に基づき道路建設の可否を決定すること ○公正な住民投票を行うため、行政・市民・専門家からなる委員会の設置を ○道路建設とは別に生活道路の交通規制を直ちに実施すること ○ヒメボタルの里「ヒメボタルのハイライン公園・散歩道」を道路計画の代替案とすること
相生山の四季を歩く会 (ラブリーアース J a p a n)	平成 22 年 10 月 ～ 平成 26 年 8 月	10 通	○COP10 の成果として、相生山緑地を「名古屋市指定の天然記念物」とすること ○市民・行政・専門家による「相生山緑地保全検討委員会」の設置 ○環境に配慮した街づくり、市民生活の質の向上維持のため、建設中止を望みます ○道路予定地を都市計画公園に組み入れて自然環境を現状のまま保全する代替案の提案 ○「弥富相生山線に関する住民意向の調査についての検討委員会」の議論内容を明らかにする「説明会」の開催
市道弥富相生山線を考える市民の会	平成 25 年 11 月 ～ 平成 26 年 7 月	5 通	○住民・市民が、自ら「納得し」「判断する」ためには、判断材料としての情報の共有と話し合いの場が必要である ○建設の是非を判断するために必要な情報を市民が共有すること

※主な団体の () 内の団体は () 外の団体に含めて集計した

要望書数には他の団体との連名のものを含む